



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年04月15日 第915号「週刊五十嵐レポート」

箍(たが)が緩む

「箍(たが)が緩む」とは、緊張がゆるんだり、年老いたりして、気力や行動がだらしなくなる。また、組織などの規律がゆるんで、しっかりしたところがなくなるという意味。(箍とは、竹を割ってたがねた輪。桶・樽などにはめて外側を強く締め固めるのに用いる)

4月13日付日経に、「大和ハウス、急成長で統治おざなり、不適切建築2000棟」という記事。「賃貸アパートと戸建て住宅の2000棟超が不適切な部材や構造で建築されていた。内部通報から調査着手まで1年半もかかった対応の遅さをはじめ、急成長の影で企業統治がおろそかにされてきた面も否定できない」。

4月9日付日経に、「西武信金、反社会勢力に融資の疑い」という記事。「金融庁は投資用不動産で不適切な融資が発覚したスルガ銀行の問題を受け、昨秋から西武信金を含めた地域金融機関の不動産融資の実態を調べていた。その過程で反社会勢力との取引が発覚した。同金庫では、借入希望者の預金改ざんしたことも見つかっている」。

建設業A社長の話。「19年3月期決算は過去最高の売上高と最終利益を計上した。しかし20年3月期の計画では抑え目にしている。19年3月期は自社のキャパを超えていた。断ることもできたのだが、やってしまった。そのため、自社で教育している協力会社の手が回らず、外部の会社をお願いしたところ、品質が悪く、クレームになってしまった。仕事を受注して、品質が悪ければ、信用を落とす。『えい、やってしまえ』という気持ちがあった」。やはり箍がゆるんでいた。今期は顧客起点に立ち返ってやっていきたい。

「兆し」。物事の起ころうとする前触れ。海の上に見えている冰山はほんの一部で、水面下に大きな氷の塊が隠れている。兆しは水面上の冰山の一角。その兆しを見る目を持つことができれば、氷の全体像を把握することはできるようになる。洞察力で物事を見る。見えないものを見る。「兆し」を感じ、何を見るか。経営者は問われている。

ちょっと
気になる出来事

4月9日(火)のTVガイアの夜明けはユニクロの特集。柳井社長のコメント。

「世界一を目指さないと、何をやっているか分からない。13万人の社員が『オリンピックに行きます。今度行ったら銅メダル取ります』。それじゃ勝てない。銅メダルすら取れない。金メダルを取る。『絶対に取るんだ』という意味がない限り勝てない」。

「(アマゾンに対して)だいぶ出遅れているがすぐに追いつく。彼らは自分の商品でもないし、専門知識もないし、作ってもいないし、企画もしていない。情報があつたらモノができたり、小売ができることじゃない。それぞれのノウハウが必要。お客が思っているよりも『新しいな。本当にいいな』というお客の期待を超える服を作っていきたい」。

現場では、お客の声を集め反映した新しく改良したブラジャーを販売している姿を映していた。

トップは、1位を目指すという強い意志を持つこと。お客の声を聴く。他社にない専門知識、ノウハウを磨く。学ぶべき点はある。



一口メモ
知識

ほめながらしつける

しつけとは、世の中でしっかり生きるために何を学ばいいかと、一つひとつ教えてあげることです。子供は何も知らないのだから、

「これはこういうふうにといい」と、やりかたを教える。

「これはまちがっている」と怒れば、子供は反発します。

まちがっているのではなくて、子供は知らないのですから。

「ちゃんと、こんにちわと挨拶しなさい」と頭ごなしに叱っても、うまくいきません。

挨拶することはカッコいい、賢いことなんだと教えましょう。

ほめながらしつけるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムツレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL 03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

